

2月号をお届け出来ませんでしたので、3月号でふた月分の志賀高原の様子をお送り致します。  
今年の1月は、2日が快晴の他晴れた日が4・5日で、殆ど毎日雪が降りました。普段ですと、1月末頃で約210cmの積雪ですが、今年は260cmとかなり多い積雪となりましたが、2月の4日過ぎより晴れの日が例年並となり、修学旅行でお越し頂いた生徒さん方に、ご滞在中1日は晴天の雪山、青い空に輝く白銀の志賀高原の元でのスキーをお楽しみ頂きました。ここでは雪山の景色をお送りします。



1月2日のファミリースキー場



ファミリースキー場頂上よりダイヤモンドスキー場を望む



ダイヤモンドスキー場より一の瀬旅館街を望む



東館山頂より岩菅山を望む



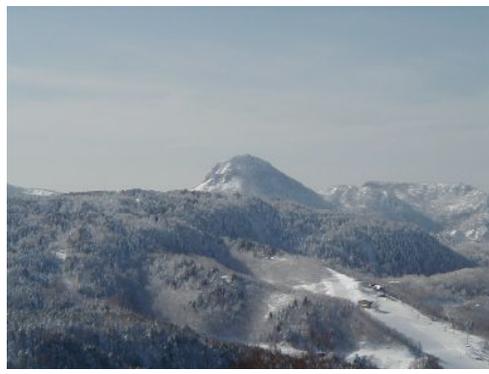
ファミリースキー場より焼額山スキー場を望む



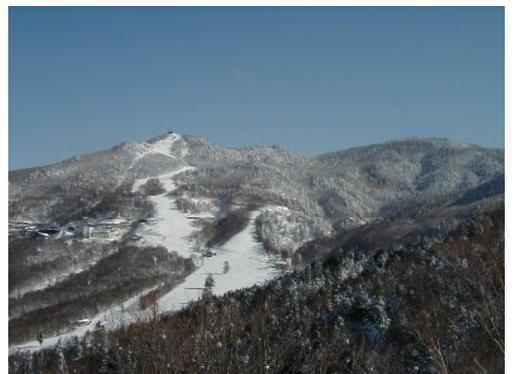
東館スキー場より左に横手山、右に志賀山、手前にゴンドラリフトを望む



横手山



笠岳とジャイアントスキー場



東館オリンピック大回転コース



焼額オリンピック回転コース



ファミリースキー場のナイター風景



ダイヤモンドスキー場のナイター風景

三、想い出は高原の  
ヒュッテに咲いた  
氷の花さえ  
ロマンスの花  
粉雪の  
あの丘越える  
スキーリフトに  
かがやく若さの  
ああ美わしの  
志賀高原

二、笠岳も暮れてゆき  
染しいキャンブ  
二人の心に  
灯つけて  
青春の  
二度ない夢を  
うつせ木戸池  
夜の明けるまで  
ああ美わしの  
志賀高原

一、バラ色のあの尾根は  
遙かな未来  
あなたと見つめた  
高原ホテル  
白樺の木立の中を  
バスが行く行く  
歌声乗せて  
ああ美わしの  
志賀高原

西沢 奥作詞  
古賀政男作曲

美わしの志賀高原

昭和三十一年、志賀高原の代表歌「美(うる)わしの志賀高原」が発表されました。以来、今日まで歌い継がれております。